

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成26年度第2回大滝区地域協議会		
議 題	平成27年度大滝区振興基金対象事業計画について		
開催日時	平成26年11月14日（金） 午後3時30分～午後4時20分		
場 所	伊達市役所 大滝総合支所 2階大会議室		
出席者	出席者11名		
	所管部課名	大滝総合支所 地域振興課 地域住民係	
公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0人
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1. 開 会 地域自治区の設置に関する協議書（以下「協議書」）第9条第4項の規定により、会議成立の旨、事務局から報告。</p> <p>2. 会長あいさつ 今日は、平成27年度基金対象事業の計画となっています。忌憚のない意見、協議をよろしくお願いいたします。</p> <p>3. 署名人の選任 審議に先立ち、会議録署名人に中川委員、滝澤委員を指名</p> <p>4. 協議 ・議案第1号 平成27年度大滝区振興基金対象事業計画について 事務局より説明（別紙のとおり）</p> <p>○質疑応答</p> <p>委 員： 平成23年度にクロスカントリースキー整備事業を行っていて、その前後は行っていない。過去に集落センターで貸出しているスキーを小学校で借りに来ていたが足りないのでは。小中学校でスキーの数は足りているのか。</p> <p>事 務 局： 学校からの要望はない。今年の予算はつけていないが、学校にも数が足りているのか確認したい。</p> <p>委 員： 敬老会、シルバーパスの対象者は70歳以上だが、生き生きデイサービス事業が65歳以上となっている。年齢をなぜ統一しないのか。</p> <p>事 務 局： 生き生きデイサービス事業に関しては、あくまでも引きこもりにならないようにするための介護予防事業なので年齢を引き下げている。</p>			

委員： フレンドシップクラブに対する補助金だが、初代のマーガレット先生と2代目のダンカン先生が来ることは確定していて補助金をつけているのか。

事務局： 確定していると聞いている。

委員： 大滝中学校中体連事業運営補助金は、なぜ基金から出さなければならないのか。

事務局： まず、大滝中学校と市内の他の中学校とでは補助の内容が違っている。市内の中学校では、全道大会に限っての補助で起点が伊達からになっている。大滝中学校の場合は大滝から伊達市街地間の交通費も必要になることから伊達の基準に合わせると、各個人の負担が多くなる。

今までの補助の内容を変えずに補助したいということで、その分を基金でまかなうこととした。

市内の中学校は全道大会だが、大滝中学校へは胆振大会や地区予選大会にも補助を出している。

委員： 幼児療育通園交通費補助金は1回2,180円。妊産婦交通費補助金は1回1,860円。なぜ金額が違うのか。

事務局： 幼児の方は伊達の舟岡町までのバス料金で妊産婦の方が日赤前までの料金である。

委員： シルバーパスの委託料が700,000円だが利用実績等は押さえているか。

事務局： 平成25年度末で利用延べ人数が8,858人。利用推計額が7,972,000円。

委員： 観光地を売りにしているのに、土日などに観光で来た時に観光インフォメーションやバスの時刻表が入手できる場所がない。役所は休みなので、道南バスの待合所（本町）や和楽来さんに置かせてもらうなどしたら良いのではないか。

事務局： 意見として受け止めて、色々検討させてほしい。

会長： 他に質問ありませんか。なければ承認ということで異議ありませんか。

委員全員： <異議なし>

会長： 平成27年度大滝区振興基金対象事業計画原案のとおり承認されました。